

<b>特講 (3.11以降の社会を考える)</b> ～福島出身者の視点から			科目コード	AT1044
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
1	S(講義)	1年以上	古川 誠	

※この科目は11/9・10に仙台会場で受講が可能です。受講希望者は8/21までに履修登録とスクーリングの申込みが必要です。

### ■スクーリングで学んでほしいこと

再来年には東日本大震災から10年の区切りをむかえようとしている。そのなかで震災とりわけ福島第一原発事故が持つ意味について、社会的・歴史的・哲学的等々の多元的な視点からとらえなおしていきたい。

### ■到達目標

- 1) 福島第一原発事故が社会や人々にもたらしたものについて考える。
- 2) 複数の視点から社会的な現実を考察する。
- 3) 社会と人間についての考え方を深める。

### ■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	福島第一原発事故について	原発事故の経緯
2	福島第一原発事故のもたらしたもの (1)	原発事故によってもたらされた社会の状況
3	福島第一原発事故のもたらしたもの (2)	原発事故が人々にもたらしたもの
4	福島第一原発事故について考える (1)	原発事故について社会的に考える
5	福島第一原発事故について考える (2)	原発事故について歴史的に考える
6	福島第一原発事故について考える (3)	原発事故について哲学的に考える
7	福島第一原発事故の意味	日本社会にとっての原発事故の意味
8	質疑応答	
9	スクーリング試験	

### ■講義の進め方

配付資料をもとに板書もしながら進めます。なお、上記の講義内容は変更される場合もあります。

### ■スクーリング 評価基準

授業への参加状況30%＋スクーリング試験70% (持込可)

---

**■スクーリング時の教科書**

---

スクーリングにあたって、教科書は使用しません。

---

**■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）**

---

講義内容の関心あるテーマについて、自分なりに学びたいことを考えてきてください。

---

**■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）**

---

講義内容のなかで関心をもったテーマについて、自分なりに考え続けてください。

---

**■「卒業までに身につけてほしい力」との関連**

---

とくに「社会への関心と理解」「他者への関心と理解」「クリティカルシンキング力」を身につけてほしい。

---

**■参考図書**

---

小松理虔『新復興論』（ゲンロン叢書001）ゲンロン、2018年